

平成17年度第2回(通算第9回)パソコン利用技術検定 実施報告書

日本学校農業クラブ連盟事務局
パソコン利用技術検定委員会

12月10日(土)を実施基準日として本年度第2回(通算第9回)パソコン利用技術検定が各校で行われました。年間2回(6月、12月)の実施に加え、筆記・実技共に連盟独自問題となって本年度で3年目を迎えました。前回に引き続き、受検校、受検者ともに少なく大変残念な状況です。また、情報処理において必要な知識を問う筆記と、実際の処理能力を問う実技のバランスが悪い受検者が多く見られたのは残念であります。農業情報処理ならびに情報科目を担当の先生方には、本検定の内容を情報科目の学習内容に是非組み入れていただき、指導いただきたいと思っております。今回の検定結果の概要を以下のとおり報告させていただきます。

1. 参加人数

2級 76人
3級 75人

合計151名の受検申し込みをいただきました。毎年引き続き受検いただいた学校も何校ありましたが、12月に実施した検定においては、過去最少の受検者となりました。
参加校 ()内は受検申込者数

【2級】

北海道立旭川農業高等学校 (2) 栃木県立小山北桜高等学校 (4)
群馬県立勢多農林高等学校 (56) 岡山県立新見北高等学校・新見高等学校 (5)
高知県立幡多農業高等学校 (9) 以上5校

【3級】

北海道立旭川農業高等学校 (2) 群馬県立勢多農林高等学校 (18)
埼玉県立鳩ヶ谷高等学校 (41) 千葉県立印旛高等学校 (1)
岡山県立新見北高等学校・新見高等学校 (4) 徳島県立城西高等学校 (3)
高知県立幡多農業高等学校 (6) 以上7校

2. 検定結果 ()内は前回の実績

2級 筆記平均 77.5点(75.3) 実技平均 29.1点(48.6)
合格者 76人中9人 **11.8%**

3級 筆記平均 67.9点(58.3) 実技平均 57.0点(52.4)
合格者 75人中24人 **32.4%** 欠席1人

今回は、3級においては実技・筆記ともに平均点が上がり、合格率も僅かですが上がりました。しかし、ともに7割の得点に達する生徒は2割以下でした。2級においては、筆記試験で平均約2点上がりましたが、例年の実技問題に比べ若干難度が高かったのか、実技平均点が大幅に下がりました。このため、合格率も前回よりさらに下がり、過去最低となりました。全般的に、筆記は当初目標のとおり平均点が70点前後と学習の成果が伺えましたが、実技においては、基本的な文書加工技術、表作成・グラフ作成・計算式の立て方などが習得されていないように感じました。時間の制約の中で、与えられたデータを正確に入力する練習をするのは当然ながら、指示文の意味を理解して式を考えたり、見やすい表・グラフを作成するところまで、しっかりマスターしていただきたいと思っております。2級・3級ともに実技のレベルアップが望まれるところです。

3. 審査結果について

本検定では現在のところ事前に合格基準を明記しておりません。検定の性格上、筆記、実技ともに70点を合格ラインの目標としていますが、その基準で判定するとまだまだ受検者のレベルが追いつかず、極端に合格率が下がってしまうため、実際には平均点も加味し60~70点のあいだに合格ラインを設けてきました。今回の2級実技は、難易度が高かったことを考慮し、基準点を設定しました。また、今回の採点において、各校の審査の判断に差がありましたので、検定委員会において審査基準にあわせて採点の再審査を行い、採点の統一を図りました。今後は難易度の均一化、安定化を図り、明確な合格基準を示していきたいと思っております。